

令和6年度 今治市デジタル戦略会議 議事録

1 日 時 令和6年7月17日(水) 午後1時00分～午後2時30分

2 会 場 今治市役所本庁 本館2階 庁議室

3 内 容

- (1) 市長あいさつ
- (2) 委員自己紹介
- (3) 委員長選出
- (4)
 - ① 今治市デジタル未来戦略進捗状況について
 - ② 令和6年度の取組について
- (5) 委員討論
- (6) 事務連絡
- (7) 閉会

4 出席者

秋山 真哉	委員	鈴木 佳苗	委員	十川 咲	委員
玉城 梨恵	委員	中村 良	委員	原 竜也	委員
増田 茂樹	委員				

発言者	内容
未来デジタル課長	それでは定刻となりましたので、ただいまより、令和6年度今治市デジタル戦略会議を開会いたします。 事務局の未来デジタル課長が司会進行をさせていただきます。 本会は、今治市附属機関等の会議の公開及び傍聴に関する要綱、及び、今治市附属機関等の会議録の作成及び公開に関する要綱に基づき、会議と議事録の公開を行うこととしておりますので、あらかじめご承知置きください。 まず開会にあたりまして、今治市長 徳永繁樹よりごあいさつ申し上げます。
市長	(～あいさつ～)
未来デジタル課長	続きまして次第の2になりますが、今回国分委員がご退任され、ジザイめっけ様より、新たに十川委員が委員に就任されましたので、十川委員より自己紹介を賜りたいと存じます。
十川委員	(～あいさつ～)
未来デジタル課長	十川委員、ありがとうございました。 続きまして、人事異動もございましたので、改めて事務局の紹介をさせていただきます。 (～紹介～) ここで、徳永市長は公務の都合により退席とさせていただきます。
未来デジタル課長	続きまして次第の3「委員長選出」に移らせていただきます。 「今治市デジタル戦略会議設置要綱」第4条第1項の規定に基づき、前回は富田委員長が選出されました。今回からは「今治市執行機関の附属機関設置条例」に基づき会が設置されていますので、改めて本会の会長を委員の互選により選出いたしたいと存じます。 どなたかご推薦等ございますでしょうか。
原委員	秋山委員を推薦いたします。
未来デジタル課長	ただいま秋山委員を推薦いただきましたのでお諮りいたします。秋山委員の委員長選任について、異議はございますでしょうか。

令和6年度 今治市デジタル戦略会議 議事録

	(～異議なし～) 異議なしと認め、秋山委員を委員長に選任させていただきたいと思います。 秋山委員、よろしくお願いいたします。
委員長	皆様よろしくお願いいたします。
未来デジタル課長	今回は事務局が会議の進行を務めます。 委員長、議事録署名人は事務局長でよろしいでしょうか。
委員長	異議なし。
未来デジタル課長	では、次第の4「今治市デジタル未来戦略進捗状況について」及び「令和6年度の取組について」、説明をお願いします。
事務局	それでは、「今治市デジタル未来戦略進捗状況について」及び「令和6年度の取組について」私よりご説明申し上げます。 (～説明～) ただいまご説明させていただきました、内容についてご質問・ご意見などございましたでしょうか？
増田委員	市ホームページに記載されている問い合わせ先に手続きナビのリンクを貼る等、利用者の流入元を増やす方向の伸びしろがある。ツールは揃っているが、存在を知らない方が多数いるのではないかと。
中村委員	利用者がどういう経路で知ったのか、サービスを知らない方にはどうすれば知ってもらえるかといった、見えてない部分に対する科学的なデータ分析ができる職員を増やしていくことが重要かと思う。
秋山委員	現在の利用者がどういった人をより詳しく理解することで、届いてない層が見えてくる。ホームページに上げて広報するといっただけでは届かない。市民が情報に触れるタッチポイントを把握し、それぞれで分析する必要がある。
原委員	LINEでの情報発信に対する反応率が他自治体と比べて高い傾向にある。情報発信の仕方についても、単なる事業紹介だけでなく利用者の声を掲示するなどしてもよいのでは。
未来デジタル課長	皆様、大変貴重なご意見をありがとうございました。 参考にさせていただいて、今後のスタートにしていければと思いますので、何卒ご協力いただけますと幸いです。 先ほど事務局からご説明させていただきましたとおり、今後とも市民生活、まちづくり、行政の3つのテーマを設定して、それぞれにかかる取り組みを推進していきたいと思います。 続きまして次第の5「委員討論」ですが、昨今様々な分野において、生成AIを活用しようとする動きが加速しており、自治体における導入事例も徐々にではありますが増えております。 このような状況にあって、当市においても生成AIの活用に向けた検討・検証を始めていきたいと考えているところですが、生成AIの活用には様々なリスクも想定される中で、安心・安全に、また有効に活用するためにはどうすれば良いか、頭を悩ませております。 そこで委員の皆様より、「行政における生成AIの利活用について」というテーマで、ご意見・ご提案をいただければと思います。

令和6年度 今治市デジタル戦略会議 議事録

	時間の都合もございますが、できましたら各委員よりお一つずつご意見・ご提案いただければと思います。
中村委員	特定個人情報保護に関する点は行政として気を付けるべき。職員に対して、生成 AI の運用の仕方やセキュリティレベルの教育を行う必要がある。また、生成 AI に対して正確な指示を出すためには、自身の業務の棚卸しが正確にできなければならない。 生成 AI を活用するためには、セキュリティの知識と業務の棚卸しができる能力の2点が求められる。
原委員	現時点で、今治市の業務では生成 AI を使える状態なのか。
未来デジタル課長	Microsoft Edge の Copilot が利用できますが、使用にあたっては、個人情報や機密性の高い情報は使用せず、なおかつ各課で運用規定を定めるようにしているところです。
秋山委員	紙のアンケート資料を全て PDF 化し、全て AI に入れて分析するとマーケティング施策が多く得られる。市役所においても過去の手書きアンケートが残っていれば活用できるのでは。
原委員	印刷やデザインの仕事でいうと、コピーライティングといった部分には生成 AI をすでに使い始めている。民間企業など他の事例を聞き取りすることで活用の糸口が掴めるかもしれない。
十川委員	生成 AI が業務のどういうところに使えるのかのイメージを職員に持たせる、1 度やれるとアイデアが出てくるような気もするので、最初のタッチポイントを作っておけるとよいのでは。
玉城委員	過去データの集計や予算資料作りに使えるのではないかと。また、海外向けの発信にも活用でき、大阪では万博関係の英語翻訳に AI を活用している。
鈴木委員	kintone と生成 AI を併用する事例が出てきている中で、庁内において AI を使った成功事例の公開や、事例の評価・表彰を実施している自治体もある。職員が AI の活用に主体的に取り組める仕組みがあるとよいのでは。
未来デジタル課長	委員の皆様、貴重なご意見を多数いただき、誠にありがとうございます。 いただきましたご意見につきましては関係部署とも共有し、今後の DX 施策に繋げて参りたいと考えております。 施策の実現に向けて、お力添えをお願いする場合もあろうかと思いますが、その際には何卒ご協力いただけますと幸いに存じます。 続きまして次第の 6 「事務連絡」について説明をいたします。
未来デジタル課長	次回の開催予定につきましては、具体的な時期については未定でございます。また、時期が決まりましたら、事務局よりお知らせをさせていただきますので、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。
未来デジタル課長	以上で本日予定していました議題は以上となりますが、その他、委員の皆様から何かございますでしょうか。 それでは、以上をもちまして、令和6年度今治市デジタル戦略会議を閉会とさせていただきます。 皆様、本日はお忙しい中ご参加いただき、誠にありがとうございました。Web 参加の方は、ご退出をお願いいたします。